

平成 29 年度 危機的な状況にある言語・方言サミット（北海道大会）の開催について（御案内）

平成 29 年度 危機的な状況にある言語・方言サミット（北海道大会）を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

記

我が国における消滅の危機にある言語・方言に関する調査研究成果や各地域の取組事例について、広く知っていただくため、「危機的な状況にある言語・方言サミット」を開催します。

*「危機的な状況にある言語・方言」とは、ユネスコが平成 21 年に発行した“Atlas of the World’s Languages in Danger”で消滅の危機にあるとした 8 言語・方言（アイヌ語、八丈方言、奄美方言、国頭方言、沖縄方言、宮古方言、八重山方言、与那国方言）及び東日本大震災において危機的な状況が危惧される被災地の方言を指します。

主催・共催	文化庁，北海道，北海道教育委員会，国立国語研究所，琉球大学，北海道大学アイヌ・先住民研究センター，アイヌ文化振興・研究推進機構，北海道アイヌ協会
日 時	平成 29 年 12 月 3 日（日） 10：00～18：20 （受付開始 9：30）
場 所	北海道大学学術交流会館（1 階・小講堂） （北海道札幌市北区北 8 条西 5 丁目）
内 容	基調講演 危機的な状況にある言語・方言の現況報告 危機的な状況にある言語・方言の聞き比べ・語り アイヌ語に関する取組事例報告 映画「サーミの血」上映（協力 有限会社アップリンク） ほか
参加者	どなたでも御参加いただけます。
参加申込み	参加申込み不要。参加費無料。 ※ 定員 160 名 会場が満席の場合，御入場いただけないことがあります。